

社会システム研究科 社会システム研究科 博士前期課程 (2010年度入学生)

※網掛けの科目については、本年度開講しません

<夜>

科目区分	科目名 担当者	学期	履修年次	単位	索引
		クラス			
	備考				
■地域コミュニティ専攻	福祉コミュニティ研究	2学期		2	
	休講				
■東アジア専攻	コミュニケーション論演習	2学期		2	
	休講				
■特別研究	特別研究 (M)IA	1学期	1	2	
	休講	1年			
	特別研究 (M)IA	1学期	1	2	
	休講	1年			
	特別研究 (M)IB	2学期	1	2	
	休講	1年			
	特別研究 (M)IB	2学期	1	2	
	休講	1年			
	特別研究 (M)IIA	1学期	2	2	
	見玉 弥生	2年			
	特別研究 (M)IIB (読替科目 : 特別研究 3)	2学期	2	2	1
	田部井 世志子	2年			
特別研究 (M)IIB	2学期	2	2		
前田 譲治	2年				

特別研究 3 【夜】

担当者名 田部井 世志子 / Yoshiko TABEL / 比較文化学科
/Instructor

履修年次 2年次 単位 2単位 学期 2学期 授業形態 演習 クラス 2年
/Year /Credits /Semester /Class Format /Class

対象入学年度 /Year of School Entrance	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
										○	○	○

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion) , Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	英米語圏の言語、文学、文化に関する高度な知識を身に付け、専門的職業人と研究者として、国際社会に役立てる能力を修得する。	○ 英米語圏の言語、文学、文化に関する専門知識を駆使し、論文を完成させながら、専門分野の研究者として必要な能力を修得する。
技能	高度な英語力を持つ専門的職業人として、あらゆる資料を駆使し適切に分析し研究できるようになる。	◎ 英米語圏の言語、文学、文化に関する論文を完成させながら、専門分野の研究者として必要な分析研究の技能を修得する。
態度	専門的な言語・文化知識を生かし、グローバル社会が抱える課題を主体的に解決できるようになる。	◎ 英米語圏の言語、文学、文化に関する課題を主体的に解決し、専門分野の研究者として必要な態度を修得する。

※◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

特別研究 3

※文化・言語専攻（英米言語文化領域）以外の学生は、自専攻（領域）のカリキュラム・マップを確認してください。

授業の概要 /Course Description

1年次の「特別研究基礎」、「特別研究1」、及び2年次1学期の「特別研究2」の成果を踏まえつつ、修士論文を作成するために、具体的に個別指導を行い、論文の完成を目指します。（講義全体のキーワードは「修士論文作成」「論の拡大」などです。）

教科書 /Textbooks

適宜、指示します。

参考書(図書館蔵書には ○) /References (Available in the library: ○)

適宜、指示します。

授業計画・内容 /Class schedules and Contents

最初にこれまでの進捗状況を確認した上で、2学期の論文作成計画書を新たに作成し、それによって指導をしていきます。

- 第1回 導入、担当学生と相談の上、計画書を作成
- 第2回 前回作成した計画書に従い、指導など(1)
- 第3回 計画書に従い、指導など(2)
- 第4回 計画書に従い、指導など(3)
- 第5回 計画書に従い、指導など(4)
- 第6回 計画書に従い、指導など(5)
- 第7回 計画書に従い、指導など(6)
- 第8回 計画書に従い、指導など(7)
- 第9回 計画書に従い、指導など(8)
- 第10回 計画書に従い、指導など(9)
- 第11回 計画書に従い、指導など(10)
- 第12回 計画書に従い、指導など(11)
- 第13回 計画書に従い、指導など(12)
- 第14回 計画書に従い、指導など(13)
- 第15回 総括。

成績評価の方法 /Assessment Method

毎回の報告書...80% 授業への参加度など...20%

事前・事後学習の内容 /Preparation and Review

履修上の注意 /Remarks

特別研究3 【夜】

担当者からのメッセージ /Message from the Instructor

【事前・事後学習の内容】

毎回出す課題をしっかりとこなして行ってください。また、授業で学習したことは常に念頭におき、修論作成に活かしてください。

キーワード /Keywords